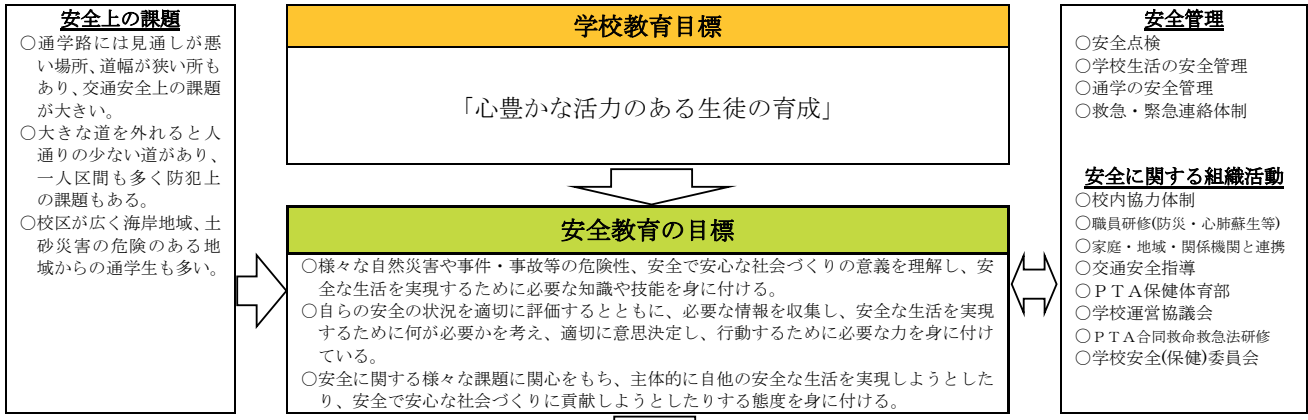


〇〇中学校 安全教育全体計画



学年別重点目標		
【1年生】	【2年生】	【3年生】
<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事件や事故の起こりやすい状況を理解し、危険を予測して身を守る行動を身に付けている。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全確認を忘れる時の心理や集団で通行する時の危険など、自分の行動を客観的に考えることができる。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時には、自らが主体的な判断で適切な行動をすることができる。 ○発生時の危険な場所（屋内外）を認知すると共に地域の避難所や避難場所を、〇〇町防災マップ（町内全戸配布）をもとに把握している。 ○自らの生命を尊重し、他と協同することができる。 	<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事件や事故の起こりやすい状況を理解し、危険を予測して身を守る行動を身に付け、実行できる。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全確認を忘れる時の心理や集団で通行する時の危険などを理解し、適切に行動できる。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発生時には、自らの判断で、危険を回避すると共に、二次災害を防ぐことができる。 ○災害の基本的な特色やさまざまな危険について理解すると共に地域の避難所や家族との連絡方法を身に付けている。 ○生命の大切さを感じ取ると共に家族や友達と助け合うことができる。 	<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事件や事故の起こりやすい状況を理解し、危険を予測して身を守る行動ができ、他者に対しても助言ができる。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全確認を忘れる時の心理や集団で通行する時の危険などを理解し、適切に行動でき、また、他者に対しても助言ができる。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発生時には、自らの判断で危険を回避すると共に、二次災害を防ぐことができる。 ○地域や行政機関の災害時の対応や情報伝達の方法を身に付けている。 ○自分の身の安全だけでなく周囲の人々の安全にも配慮できる。また、地域の人々と協力し地域に貢献することができる。

関連する主な領域及びその指導内容			
	【1年生】	【2年生】	【3年生】
教科	○地震がどのように伝わっていくかを学び、津波や液状化等によってどのような被害を受けるかを学習することにより、将来地震が起こったときに適切な判断ができるようになる。（理科）	○日本の地形・気候を学習し、どのような特徴を持った災害が発生するのか、また、災害発生時にどのような知識を身に付けるべきか考える。（社会） ○さまざまな自然災害や防災・減災について学習し、災害時の対応や支援等、行動につながる知識と心構えを持つ。（社会） ○気象の学習、台風や雨が激しくなる仕組みを学習することで、自分たちの安全な生活や準備等について考え、行動につなげることができるようにする。（理科）	○東日本大震災をきっかけに、何を学び、どう生きるのかについて考え、いまを一生懸命に生きていくという気持ちを育てる。（社会） ○日本の起こりうる災害について多面的に学び、各災害を最小限に食い止めるために私たちがどのような予防ができるのかについて過去のデータを基に分析する。（理科）
道徳	○主として自分自身に関すること【節度、節制】 ○主として集団生活や社会との関わりに関すること【社会参画、公共の精神】 ○主として集団生活や社会との関わりに関すること【郷土の伝統と文化尊重、郷土を愛する態度】 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること【生命の尊さ】	○主として自分自身に関すること【節度、節制】 ○主として人との関わりに関すること【思いやり、感謝】 ○主として集団生活や社会との関わりに関すること【郷土の伝統と文化尊重、郷土を愛する態度】 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること【生命の尊さ】	○主として自分自身に関すること【節度、節制】 ○主として人との関わりに関すること【思いやり、感謝】 ○主として集団生活や社会との関わりに関すること【勤労】 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること【生命の尊さ】
学習の時間	「私たちのまち、再発見！」 ○地域の歴史・文化・立地条件等を6年生の学習内容を振り返りながら再発見する学習を通して、住みやすい地域にするために自分たちでできることを考える。	「災害に強いまちに！」 ○災害時における地域の課題を具体的に自分たちで調べたり、調べた内容を他の地域と比べたりすることによって、改めて地域の課題と良さを考える。	「地域防災に貢献！」 ○地域の課題を踏まえて、災害時に自分たちができることや、課題の解決方法を考える。
特別活動	<p>学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波から命を守る心得は？ ・緊急地震速報の仕組みと活用 ・事故に遭わない起こさない（自転車事故） ・事件に巻き込まれないために（不審者対策） ・「学習発表会」に向けて <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地震津波避難訓練（授業中、休み時間、掃除中、時間と場所を変えて：年間10回） ○防犯教室 ○交通安全教室 	<p>学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行先で地震発生！その時あなたは？ ・「警報」「注意報」の違いって？ ・備えて安心！我が家の安全対策 ・「学習発表会」に向けて <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練（土砂災害） ○不審者対応訓練 ○心肺蘇生法講習会（AEDを含む） 	<p>学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害後の暮らし、あなたにできることは？ ・使えますか？防災倉庫の中にあるもの ・家族との5つの約束（家族防災会議を振り返る） ・「学習発表会」に向けて <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練（火災）

安全教育の成果を測る指標
<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活における事故の現状、原因及び事故の防止について理解できたか。（テスト） ○現在及び将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく意思決定や行動選択ができるようになったか。（感想・振り返りシート） ○日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自主的に安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善できるようになったか。（言動、事後学習ワークシート） ○自他の生命を尊重し、安全な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全に進んで参加・協力できるようになったか。（言動、事後学習ワークシート）